

科目	地理A	単位数	2	学年	1	学級	全	学科	全
----	-----	-----	---	----	---	----	---	----	---

学習の到達目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。
使用教科書 副教材等	高等学校新地理A (帝国書院) 基本地図帳 (二宮書店) データブック・オブ・ザ・ワールド(二宮書店)

学期	月	学習項目	学習内容の説明	
前期	4	地球儀や地図からとらえる現代社会 1 地球上の位置と国家 2 グローバル化が進む世界 人間生活を取り巻く環境	* 緯度経度を利用して地球上の位置の表現方法を学び、球面である地球の平面上への表現方法を理解する。 * 地図を活用して国家の領域について学習し、問題点について理解する。 * 世界規模のモノやヒトの流れについての理解を進める。	
	5	1 生活に影響を与える環境条件とは 2 人々の生活と地形 3 人々の生活と気候 4 人々の生活と産業 5 人々の生活と文化	* 世界の大地形の概要をとらえ、生活の基盤となっている地形環境について理解する。 * 地形起伏の表現方法としての等高線について学習する。 * 世界の気候を知り、気候の違いで生活がどのような影響を受けているかについて学習する。 * 世界の産業や文化が人々の生活とどのような関係があるのかを理解する。	
	6	世界の諸地域の生活・文化 1 中国の生活・文化 2 韓国の生活・文化	* 諸条件から世界をいくつかの地域に区分することによって諸地域の学習を進める。 * 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解するとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。	
	7	3 東南アジアの生活・文化 4 インドの生活・文化 5 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	* 世界の諸地域の生活・文化について、地図やグラフ、映像等を交えての学習を行い、理解する。	
	9	6 サハラ以南のアフリカの生活・文化 7 ヨーロッパの生活・文化 8 ロシアの生活・文化 9 アメリカ合衆国の生活・文化 10 ラテンアメリカの生活・文化 11 オーストラリアの生活・文化		
	後期	10	地球的課題と私たち 1 複雑に絡み合う地球的課題	* 地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察する。
		11	2 世界の環境問題 3 世界の資源・エネルギー問題	* 地球規模の問題の理解や整理のために地図や統計グラフを用いたり、その解決に際して地理的見方・考え方を交えての考察を行う。
		12	4 世界の人口問題 5 世界の食料問題 6 世界の都市・居住問題	
		1	身近な地域の課題 1 身近にあるさまざまな地図	* 身近な地域の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身につける。
		2	2 日本の自然環境と防災	* 地形図など様々な地図の読図や目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身につける。
		3	3 身近な地域の課題と地域調査	* 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解するとともに、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察する。 * 身近な地域の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身につける。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	世界の国々や自然環境などに関心を持ち、地理の基礎知識を身に付けるために意欲的に学習に取り組んだか。作業学習などを丁寧に進められたか。		
	思考・判断・表現	地理的知識を土台にして、混沌とした世界・社会のさまざまな問題点を、広い視野に立って多角的に考察することができたか。		
	資料活用の技能	現代社会の地理的諸事象について、いろいろな資料をさまざまなメディアを通じて身に付け、考察する過程や結果を自分の言葉で適切に表現できるか。		
	知識・理解	現代社会の地理的諸事象を考察する上で必要となる基本的知識を身に付けているか。その知識を適切に自分の考察の中で生かしているか。		
	評価方法	前期は定期考査の得点と、授業における課題や作業等の内容を加味して総合的に評価する。 後期は定期考査の得点と、授業における課題や作業等の内容を加味して総合的に評価し、学年の評価は前期と後期の評価を合わせて行う。		
担当教諭から	地理は空間を対象とするあらゆる学問にとって基礎的な知識を提供する科目であると同時に、文系・理系の垣根を越えた多方面の総合的な知識も要求される科目である。生きる力を養う重要な科目である。			